記者発表資料

平成３０年　８月２７日
東北地方整備局
北上川ダム統合管理事務所

［湯田ダム］豪雨災害への備えを学ぶ！

～北上市の防災訓練と連携し、ダム下流住民と実践的な勉強会を開催～

湯田ダム完成から54年、幸いにも大きな洪水の発生もなく、下流地域住民には「ダムがあるから大丈夫」といった認識も生まれ、水害に対する意識の低下が懸念されています。また、先月発生した西日本豪雨災害（平成30年7月豪雨）のような、これまでに経験したことがないような豪雨災害などが全国各地で発生している状況です。

このため、もしも計画規模を超える洪水が湯田ダム流域で発生した場合、ダム下流でどのような行動が必要になるのか、下流地域の皆様に理解していただき、確実な避難行動につながるよう北上市と連携した勉強会を開催します。

1．日時
平成30年9月2日（日）　防災訓練 ：7時00分～ （水害に関する勉強会 ： 9時45分頃から予定）

2．実施場所
黒沢尻東小学校　体育館　　対象者：北上市黒沢尻東地区住民　他
9：45頃　～　10：30頃まで
「水害に関する勉強会」を実施
模型を使ったダム放流の仕組みの説明もあります

通常の洪水時防災操作

異常洪水時防災操作（イメージ）

○異常洪水時防災操作について
ダム上流域に大雨が降り、ダムの計画規模を超える洪水が発生した場合、ダムに入ってくる水と同じ量の水を下流に流す可能性があります。
ダムに貯められる量には限界がありますので、ダムからの情報に注意が必要です。

≪発表記者会：岩手県政記者クラブ、北上記者クラブ≫

＜問い合わせ先＞
北上川ダム統合管理事務所　湯田ダム管理支所
〒024-0341　岩手県和賀郡西和賀町杉名畑44地割162-15
支所長　　山内　純一　（内線 6321）
（代表TEL：0197-74-2011）

北上市　消防防災部　消防防災課
〒020-0045　岩手県北上市柳原町二丁目3番6号
課長　　佐藤　康浩　（内線6210）
（代表TEL：0197-64-2111）

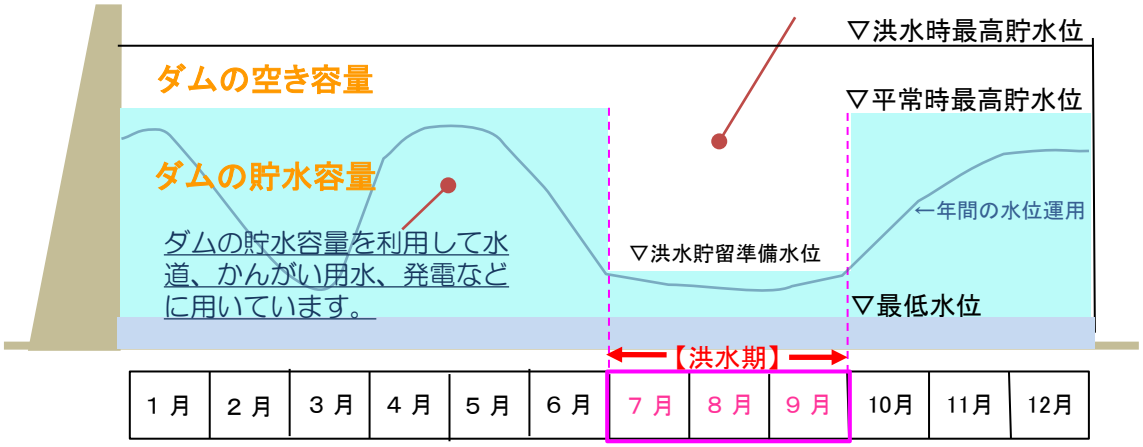
ダム水位運用とダム操作の通知

参考資料①

ダムは洪水の起きやすい季節になると、**洪水を貯め込む準備として事前にダムの水位を下げます。**
実際に洪水が発生又は発生の恐れがある場合は、河川利用者や関係機関に対して、**FAXでの通知や放流警報設備、警報車を使用した注意喚起を行います。**

～ダム貯水池の水位運用イメージ～

７月～９月までの雨が多い時期（洪水期）は、あらかじめダムの水位を下げ、洪水に備えます。



～ダム放流通知・巡視・警報等の実施～

○放流通知・巡視・警報等の目的

ダム操作を開始する前に、下流河川の安全を確認するとともに、河川利用者や関係機関へ注意喚起を行います。

電光表示板

放流警報所

○放流通知・巡視・警報等のタイミング

①放流を開始する前、又は、放流を増量する前

⇒関係機関には「放流開始・増量」を通知　　1時間前

⇒巡視や警報を実施し、下流河川の安全を確認

②急激な水位変動を伴う放流操作の前
（ダムへの流入量に合わせて放流量を増加させる必要がある場合）

⇒関係機関には「急激な河川水位の上昇」を通知　　1時間前

⇒再び巡視や警報を実施し下流河川の安全確認

③緊急のダム操作前

⇒関係機関には「計画規模を超える洪水時操作情報」を通知　　3時間前

⇒巡視や警報を実施し上記の「操作開始の事前通知」　　1時間前

⇒緊急のダム操作を開始した後に「操作開始の通知」　　操作開始時

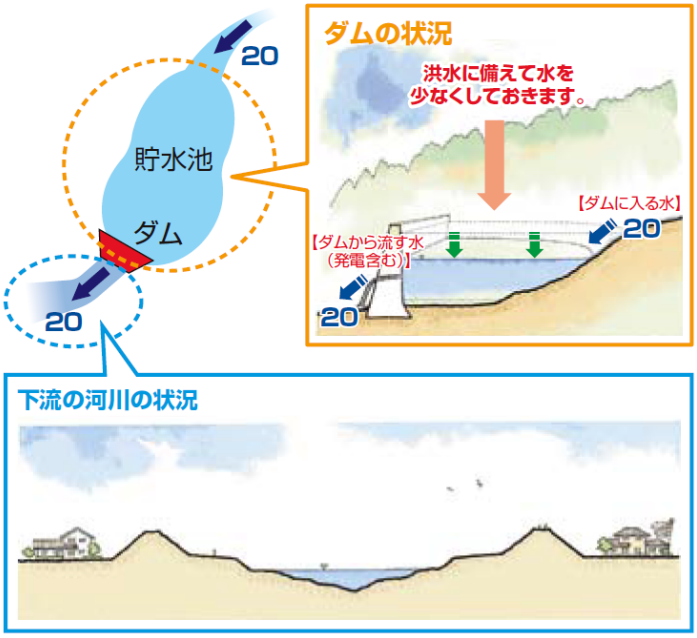
ダムによる洪水調節の仕組み

参考資料②

ダムは洪水の一部をダムに貯め込み、**ダム下流に流れる水量を減少させ、被害を防止しています。**
ただし、ダム計画を上回る洪水時は、ダムに入る水量をそのまま流す操作に移行する場合があります。
ダムに貯められる量には限界があり、万能ではありませんので、ダムからの情報に注意して下さい。

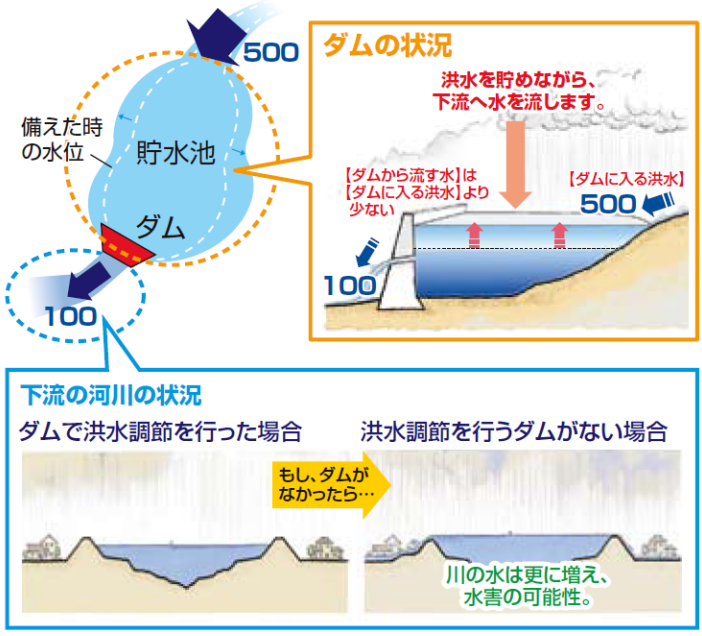
①洪水に備える

台風や大雨による洪水の起きやすい季節（7月～9月）には、洪水に備え前もってダムの水を少なくしておき、洪水のときに水を貯める準備をします。



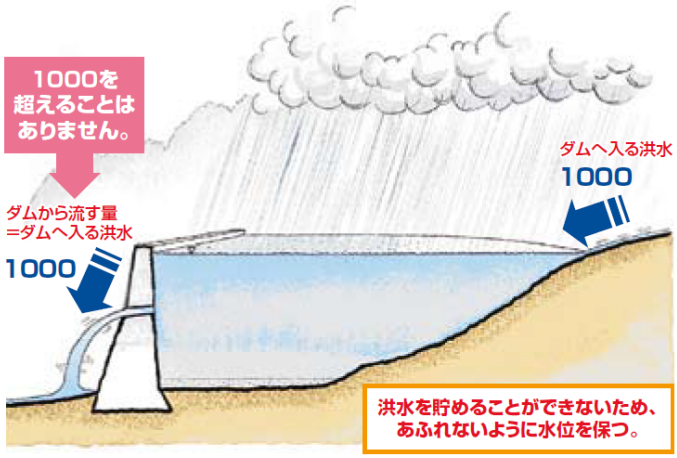
②洪水を貯め込む

大雨が降り洪水（500以上）になると、ダムに流れ込む洪水の一部をダムに貯め、下流に流しても安全な量だけダムから流します。
ダムから流す水の量は、①の洪水に備えているときより増えます。このようなときには、前もってダムからスピーカー等で状況をお知らせします。



③計画規模を超える洪水への対応

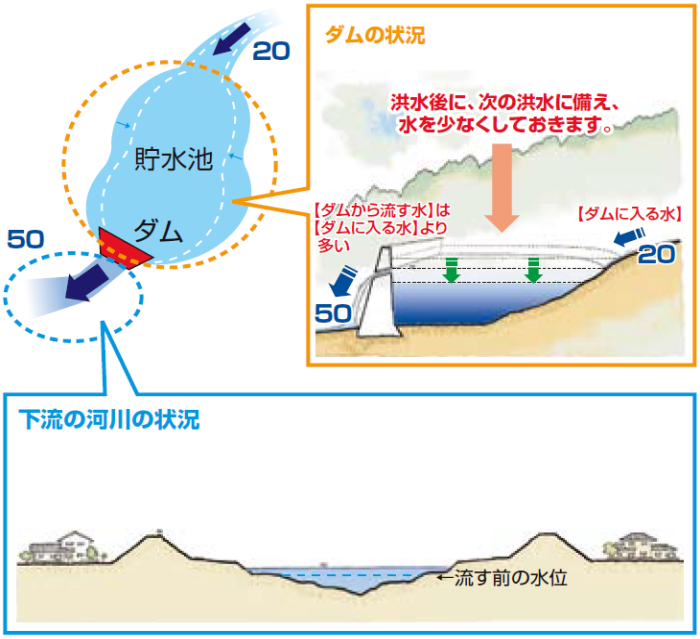
異常な豪雨により、ダムを造るときに想定したよりも、大きい量の洪水がダムに流れ込むことがあります。ダムでも精一杯②のように洪水を貯めながら下流に流す操作を行いますが、ダムに貯めることができる水の量には限界があります。
このような場合には、ダムから下流に流す水の量を徐々に増やしながら、ダムに入ってくる水の量と同じ量を下流に流すようにします。（自然河川状態）



自然河川状態（ダムに入る洪水=ダムから流す量）でのダムの操作を維持。

④次の洪水に備える

大雨がやみ洪水が過ぎ去ると、ダムに流れ込む水の量も少なくなります。
ダムの水は、洪水を貯めた分だけ増えているので、次の洪水に備えるために下流の川の状況を見ながら、貯めた水を流してダムの水を少なくします。



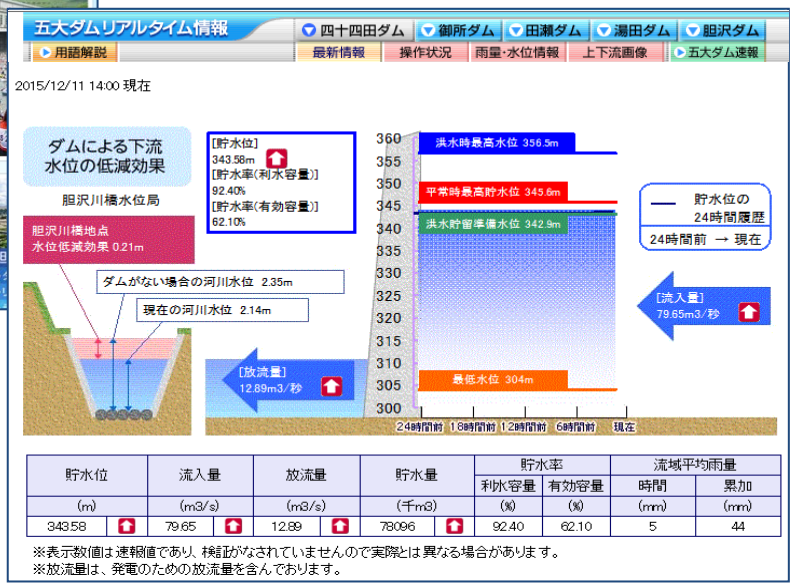
北上川ダム統管のリアルタイム情報

参考資料③

北上川ダム統合管理事務所で管理している5ダムの状況は、誰でもどこでも一目でわかるように、**パソコンや携帯電話、スマートフォン向けにリアルタイムで情報を発信**しています。
洪水時に河川（水辺）に近づくのは大変危険ですので、これらの情報をご利用下さい。

パソコン版　リアルタイム情報

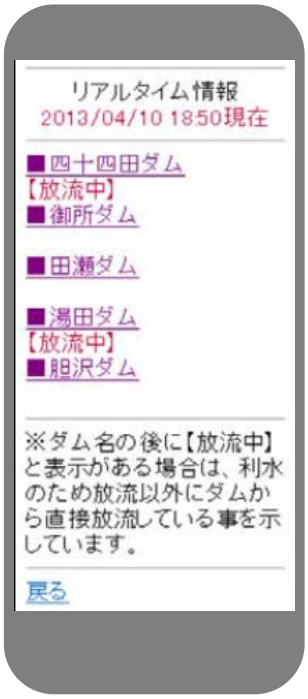
http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/

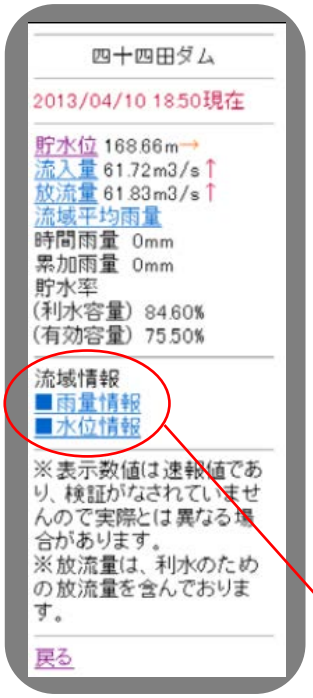


貯水位	流入量	放流量	貯水量	貯水率		流域平均雨量	
				利水容量	有効容量	時間	累加
(m)	(m3/s)	(m3/s)	(千m3)	(%)	(%)	(mm)	(mm)
343.58	79.65	12.89	78096	92.40	62.10	5	44

四十四田・御所・田瀬・湯田・胆沢ダムの「貯水位」、「流入量」、「放流量」、「ダムによる下流水位の低減効果」等の情報が確認できます。

携帯電話・スマートフォン版　リアルタイム情報





ダム上下流の河川情報も確認できます

●携帯電話
http：// keitai.thr.mlit.go. jp/kitakato/mobile/index.html

●スマートフォン
http：// keitai.thr.mlit.go. jp/kitakato/sp/

携帯電話

スマートフォン